

曾於市
Soo CITY
話題の広場
Topics



観光ボランティアガイド育成研修会



住吉神社での現地研修会

曾於市観光特産開発センターは、観光ボランティアガイドの育成を図るため、9月13日、末吉総合センターで研修会を開催しました。

講師は、まち歩きの第一人者である東川隆太郎氏で、「こんなガイドはやばいぞ」「観光ガイドとして大切なこと」等を分かり易く説明して頂きました。その後、住吉神社（流鏝馬）・肝付竹友の墓に於いて、高木秀久氏の説明による現地研修会も行いました。

受講者は、有意義な講演と新たな曾於市の歴史を知り、ガイドとして一歩前進しました。



おコメを栽培して被災地に送り隊 稲刈り



9月28日、大隅町恒吉の田んぼで「おコメを栽培して被災地に送り隊」のメンバーの皆さんが稲刈りをしました。

この団体は東北大震災で被災された方の為に何かできることはないかと考えていた大隅町岩川在住の馬庭達也さん(46)が、勤務している都城の病院の同僚に声を掛け賛同してくれた20数名で結成したものです。

5月に結成した同隊は、苗床づくりから田植え、畦払い、稲刈り、かけ干しと米作りのすべてを体験し、自然の恵みを十分に含んだ米を被災地である石巻の保育園に送ろうという思いで活動しました。

馬庭さんに話を聞くと「殆どのメンバーが米づくり初体験ですが、皆忙しい中充実した日々を送っています。励ましのメールを頂くとやる気が益々湧いてきます。」と元気そうな笑顔でおっしゃっていました。

お米は、10月17日、「イセヒカリ」300kg、「ヒノヒカリ」300kgを白米に精米して石巻の保育園に無事に発送したそうです。

曾於市青少年リーダー研修(クリーンセンター業務体験)



本事業は、教育委員会と青少年指導員会が共催し、曾於市青少年研修活動事業を年間通して実施しています。

9月17日、青少年リーダー研修生 23 名が曾於市クリーンセンターの業務体験を行いました。

前半はクリーンセンターの概要・曾於市のゴミ処理状況・ゴミの分別方法等について学習した後、詳しく説明を受けながら施設を見学しました。後半は、雨が降る中、実際に持ち込まれたゴミの搬入作業・分別作業を行いました。

今回の業務体験で、自分達の出したゴミがどのように処理されているのかを理解した研修生は、ゴミを減らすためには、無駄な買い物せず物を大切にすることが大事だと実感したようです。

霧島ジオパーク活性化会議



活性化会議の現地勉強会 (桐原の滝)

霧島ジオパーク活性化会議は、霧島ジオパークエリア内にある関係市町の民間団体で作る組織で、6月に設立され本格的始動を始めました。目的は、行政と異なった活動を行い、霧島ジオパークを盛り上げるものです。

曾於市からは、曾於市観光特産開発センターの吉川所長が会員となって、色々と活動を始めています。例えば、10月に道の駅たからべに於いて「霧島ジオパーク展示会」、「第1回曾於市がねコンテスト」などを開催し、霧島ジオパークの周知や活用を図っています。

今後は、市民を対象とした勉強会や霧島ジオパークツアーを開催したいとのことでした。

記念すべき大運動会 大いに盛り上がる



9月25日(日)、大隅南小学校の児童と校区民の方々とで、「大隅南小学校創立50周年記念 第20回大隅南小学校 南校区合同秋季大運動会」が開催されました。

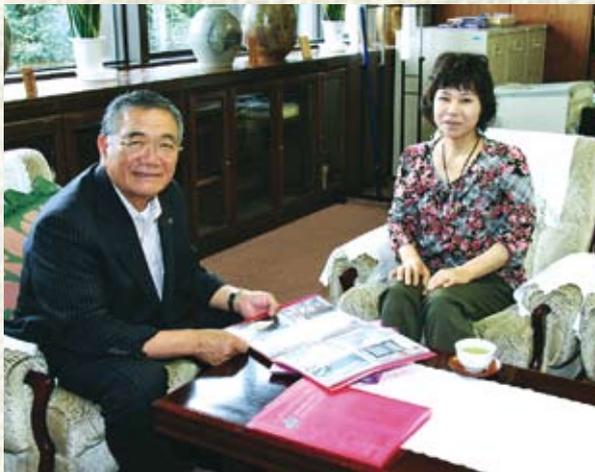
同校は、「最後まで がんばる心 南スター☆」、南校区は、「ふれあい」というテーマを掲げ、「かけっこ・短距離走」「親子種目」「全校種目」「応援合戦」「一輪車演技」や玉入れをはじめ、幼児から高齢者まで多くの皆さんが参加できる種目で、熱戦を繰りひろげました。

種目の中には「50周年記念ジャンケン大会」もあり、1等には大型ハイビジョンテレビが用意されており、大いに盛り上がりました。

また、創立50周年実行委員会から、新調した校章旗や屋外テント2張りの贈呈もありました。さらに、地域の長才会が、七福神の宝船にみたてた乗り物に乗って、校庭を巡るなど50周年を大いに盛り上げました。

唯一の6年生 岩下沙羅さんは、「50周年という節目の年の運動会ができてよかったです。わたしにとって小学校生活最後の運動会で、精一杯頑張ることができました。」と感想を話してくれました。

海外研修でやる気が湧きました



9月21日、南之郷中園にお住いの井之元美佐子さんが市長室を訪問し、ヨーロッパ農村女性海外農家体験研修の報告をされました。

この事業は、有機農業の国オーストリアとハンガリーの農村の生活スタイルや農業資源の活用を知り、地域活性化に農村女性がどのような役割を果たすべきかを学ぶ研修です。

井之元さんは、「9泊10日の研修の中で、ハンガリーやオーストリアの方々は、とてもフレンドリーで、おおらかさや女性のたくましさを感じることができました。また、他県の人とのふれあひも、繋がりが出来たことが一番の財産です。とても刺激を受け頑張ろうという気持ちが湧いてきました。」とうれしそうにお話されていました。

長寿を祝う 「高齢者のつどい」 開催



9月19日、末吉中央公民館2階ホールで、中部校区社会福祉協議会が主催する「中部校区高齢者のつどい」が開催されました。

この「つどい」は、社会の進展に寄与されてきた高齢者に対して、心から敬愛の気持ちを表すと共に、高齢者の長寿を祝う事を目的に開催されました。

当日は、90歳以上の方々に寿賞の授与の後、フラダンスや楽団演奏、太鼓や踊りなど沢山の余興が披露されました。

樹心保育園児の遊戯やフラダンスなどを目を細めながら、またはつらつとした元気な笑顔で見ている様子がとても印象的な会になりました。

中森園自治会 おやじの会 ひょっとこ踊りを披露



9月10日、岩川構造改善センターで、大隅町岩川中森園自治会の十五夜祭りがありました。

この十五夜祭りは、毎年開催されていますが、今年は「おやじの会」の方々に、なにか盛り上げる事ができないかと話し合い、ひょっとこ踊りをする事になりました。

この「おやじの会」は、お父さん方の親睦を図る目的で25年前に結成され、現在会員は10名、3ヶ月前から一生懸命練習に取り組んできました。この練習の甲斐もあり、当日は、子供達やお母さん方も大騒ぎ。逃げ回ったり、泣いたり、笑ったりとても好評のようでした。

岩川小学校1年の^{まきぎきともや}牧崎友哉君は、「ちょっと怖かったけどとても楽しかったです。」と笑顔で話してくれました。